



はなみずき

成生小学校 学校だより
令和8年5月29日 No.3
校長 渡邊 隆

二日間にわたって行った運動会

今年度の運動会は、予定日の22日(金)に、雨模様の合間を縫って行いましたが、雨足が強まり、次週25日(月)へ延期することになってしまいました。しかし、子供たちは、伸びたことについて気持ちを切らすことなく、最後まで全力で競技に取り組むことができました。また、勝敗について、どちらが勝つかわからない接戦となり、点数の発表があるまで全員がドキドキの様子でした。今回は、10点差で赤組の連覇となりましたが、互いに正々堂々と競う合ったことから、すがすがしい気持ちで勝敗を受け入れている姿が見られました。

25日(月)に行った運動会においても、たくさんの保護者の方、地域の方々に参観いただき、賑わいのある中で、運動会を行うことができ、子供たちもとても喜んでいました。保護者の皆様には、二日間に及ぶお休みをとっていただくなど配慮いただき、改めて感謝申し上げます。

最後に、今回の貴重な経験を、6年生は最上級生として学校生活への見通しを確かめたり、6年生の姿を見て学んだ5年生以下の人たちは、来年の自分の活躍をイメージしたりしながら、しっかり振り返りにまとめてほしいと思います。学校では、運動会で得た経験を次の活動に生かしながら、より成長できるように、学習に活動に取り組んでいきます。



運動会の振り返り

運動会のスローガンの「全力を出す」ということができました。練習の時から、練習だから適当でいいと思わずに、全力で競技をしたり、応援の時でも全力で声を出して応援したりすることができました。できなかったところは、低学年をまとめる時に事前に考えておけばもっとスムーズにならばせられたところがあったので、もう6年生で運動会はないけど、生活の時にまとめる場面はたくさんあると思うので、そういう時に考えて行動していきたいです。

6年1組 榎 虎太郎

スローガンを達成することができたと思います。最後の結果が分かった時にとても喜んだり、とてもくやしがあったり、と全力でがんばったからこそ、その感情が出ていたと思いました。練習の時、最初はまとまっていなかったけれど、運動会が近づくともまとまってきて、一人一人全力で練習していると思いました。途中で体調をくずしてしまっただけで、当日動けるところまで回復して、小学校生活最後の運動会で、かいのある運動会になりました。

6年1組 堀江 真帆

学校評議員会

5月26日に今年度第1回の学校評議員会が開かれました。当日は、4名の評議員の方に来校いただき、各学級の授業通覧や学校経営に関する説明などを行いました。延期となった運動会の次の日ということもあり、運動会の余韻が残る中での授業の通覧となりましたが、各学級とも国語や算数、図工や外国語など、多様な学びの様子が見られました。特に、学校評議員の方々からは、子供たちが和やかに、楽しく活動している姿を見て、嬉しく思ったとの感想をいただきました。今回の評議員会では、4月にお伝えしたPTA組織の改編について、改めて説明を行い、大きな変更があることから、さまざまなご質問をいただきました。いただいたご意見等を踏まえ、今後の学校経営及び持続可能なPTAとなるよう、取り組んでいきます。



絵の具の使い方講習会

5月27日(水)に、ペんてる東北支店の講師の方から、1年生に向けて絵の具の使い方講習を行っていただきました。小学校に入って、初めて絵の具道具に触れる機会となるので、上手に使っていけるように、それぞれの道具の用途などを教えてもらいながら進めていきました。まずは、道具の置き場所。机の広さは決まっているので画用紙を中心にバケツや筆、パレットなどを黒板に示された通りに配置していきました。次に、バケツのそれぞれの部屋に水を入れてから、水色の色を青と白の絵の具でつくっていきました。混ぜ具合によって、青味が濃くなったり、薄まったりしていきましたが、それを水に溶かしていくことによって、画用紙に塗る色合いも変わっていきました。クレヨンで描いた絵に、空の色の水色を塗り重ねていくことによって、作品が完成していきます。穂先を気にしながら、細かい部分まで塗っていく子もいて、色を塗る楽しさを実感しているようでした。



警察音楽隊の演奏

5月29日(金)に、山形県警察本部より、警察音楽隊の方々に来校いただき、交通安全啓発指導も兼ねた演奏会が行われました。この警察音楽隊は、昭和37年に発足し、60年以上の長きにわたり活躍されており、県民と警察とを結ぶ「音の架け橋」となって、毎年、複数の学校でも演奏活動を行っているそうです。

当日は、県警マスコットのカモンくんが描かれた、鮮やかな黄色のバスで学校に到着し、フルートやクラリネット、トランペットやトロンボーンなど、たくさんの楽器を用いて演奏を披露してくれました。子供たちも、講堂前方いっぱい広がる楽隊の姿をみて驚きつつ、その美しい音色に聞き入っている様子でした。6年伊藤剛さんの感想からも、演奏の迫りに圧倒されたことがわかりました。また、音楽隊を管轄している、警務部参事官兼広報相談課長の庄司憲功氏も本部から参観に来られ、演奏している音楽隊の方々も引き締まった表情で演奏しているようでした。

